



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2023/08/26

あっさり黙示録 #69

御座に座す神の七つの宣言その1

神による新エルサレムの解説

黙示録 21章

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。今日は**あっさり黙示録**の69回目。今見ているのは**黙示録 21章**です。新天新地、新しいエルサレム、この3つの新しいものについて、二人の証言者がメッセージしています。一人は御使い。もう一人は神ご自身。神ご自身は新しいエルサレムについて、7つの言葉でメッセージをしています。そのうちの前半4つをササッと見ていきますね。

黙示録 21章

5a すると、御座に座っておられる方が言われた。

御座は玉座です。玉座に着く方は被造物ではありません。神あるいはイエス・キリスト。御座に座っておられる神ご自身の発言が、これから7つ出て来ます。

①5b 「見よ、わたしはすべてを新しくする。」

新しくはギリシア語でカイナ。するはコイオー。建設するという意味もありますが、これは現在形で書かれています。ギリシア語の現在形は継続を表す動詞なんです。つまり、新しくするは「新しくし続ける」なんです。これは何を言っているのか。

今の世界では、どんなに新しい物も経年劣化してしまいます。新車を買っても中古車になり、最後はポンコツになります。新築マンションを買っても中古マンションになり、最後はお化け屋敷になりますねえ。

時間と共に、はじめは新しかった物が古びて劣化してしまう。これは熱力学第二法則（エントロピー増大の法則）下にあるからなんです。

もし新しい天と地が創られても、それが永遠に続くなら、その先にあるのはボロボロになっているのじゃないか。そんな心配はいりません！ということなんです。見よ、わたしはすべてを新しくし続ける。

聖書には「キリストを信じる人は、日々新たにされる」ということばがあります。

1回限りのことではなく、継続して次の瞬間次の瞬間、より素晴らしいものに新しくされて行く。それが新しい天、新しい地、新しいエルサレムの特徴です。

②5c また言われた。「書き記せ。これらのことばは真実であり、信頼できる。」

簡単に言うと「信じなさい！」という勧めだと思えます。

書き記せ。これらのことばは真実であり、信頼できる。これは人間社会でいうと念書ですね。念書というのは、約束を果たす側が相手側に対して文書を書いて「この通りしますからね」というドキュメントです。

「約束したじゃない」「言った覚えはないよ」言った言わないで揉めるので、最初

に「これだけのことをやりますよ」という念を押した文書です。
人間社会では、約束しても気が変わることもあるので念書を取り交わすことがあるのですが、ここで約束しておられる方は神です。

神さまは何でも出来る方ですが、出来ないことが一つあります。
それはご自分の性質に反すること。神は真実な方なので嘘をつけません。
嘘をつこうとしてもつくことができない。そういう方がわざわざ念書を書く必要はないんです。神が約束したら、いちいち保証書とか念書を書く必要ないんです。
にもかかわらず「書き記せ。これらのことばは真実であり、信頼できる。」
本来書く必要がないのに、書いたことによって念押し。念押し。
「絶対に信頼できるから、安心して信じなさい」という呼び掛けだと思っただけですね。

③6a また私に言われた。「事は成就した。」

事とは何でしょうか。神の人類救済計画のすべてが遂に完結したということです。
皆さんは「歴史観」という言葉を聞いたことがあると思います。
歴史には様々な出来事、事実、エピソードがありますが、それをどんな観点で解釈するかによって、歴史から読み取られる物語が変わって来るんですね。

ある人（共産主義の人）たちは唯物史観、唯物論の歴史観にしたがい、全世界は最終的に共産主義になるという歴史観で生きています。

また、戦前の日本は皇国史観。天皇は神であるという前提で、天皇の国民は神の国の民。これは遡ると平田篤胤（ひらた あつたね）という人の平田神学、神道の考えから出て来るんですが、実はこの土台は、キリシタンたちが持ち込んだ聖書の教理書でした。平田神道の原文と当時のバテレンたちが持って来た教理書を見ると、ほぼほぼ一緒の文章。ただデウス（創造主）を天皇に置き換えてるんですよ。聖書の神のポジションのところに天皇を据えたので、非常に無理があります。この皇国史観によって戦前、特に明治以降はすべて、尊王攘夷思想はここから来ているんです。もちろんそれは実現しませんでした。

歴史というのは、神の救済史観に立って初めて辻褄が合うんです。
神が私たちに提示しておられる聖書には何が書いてあるのかというと、罪によって墮落してしまった人間を救済する、人類回復のための神さまの総合プランです。
罪の誘惑を持ち込んだサタンを永遠に滅ぼし、罪によって台無しになった人間や周りの環境、宇宙を含めたすべての環境を創り直す。全く別のものにしてしまう。
それが新天新地でとうとう全部実現しました！事は成就した！

黙示録こそはその結論なんですね。

④6b 「わたしはアルファであり、オメガである。初めであり、終わりである。」

この言葉によって、御座に座っておられる方が神ご自身であることが明らかになりました。なぜかという、初めであり、終わりであるというお名前は、旧約聖書に出て来る神の別名なんです。これは新約聖書で初めて出て来た表現ではなく、旧約聖書のイザヤ書に何回か出て来ます。その1つを見ましょう。

イザヤ書 44章

6 イスラエルの王である主、これを贖う方、万軍の主はこう言われる。「わたしは初めであり、わたしは終わりである。わたしのほかに神はいない。」

イスラエルの王である主のお名前は初めであり、終わりである。

なので、御座に座っておられる方は神です。

初めであり、終わりであるの中に、メッセージが含まれていると思います。
初めでありは、すべての存在の起源、存在するものすべてを存在させた第一原因者、存在の根源である方は神さまであるということ。

終わりである。これはちょっと注意しないとダメですね。

わたしは終わりである。人間が言うと、一巻の終わりみたいじゃないですか。

神さまに終わりがあるのだろうか。そんな意味ではありません。

ここの終わりは完結させるという意味です。

神は計画したことを全部完結させ、ご自分が創られたものを完成される。

人類歴史を完成し、あなたの人生や人格を完成させてくださる方、それが創造主である神なんですね。

今日は4つ説明しました。続きはまた次週お話しします。

チャンネル登録もお願いします。ではまた ごうちゃんねるでお会いしましょう。

皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！



☆引用；日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017